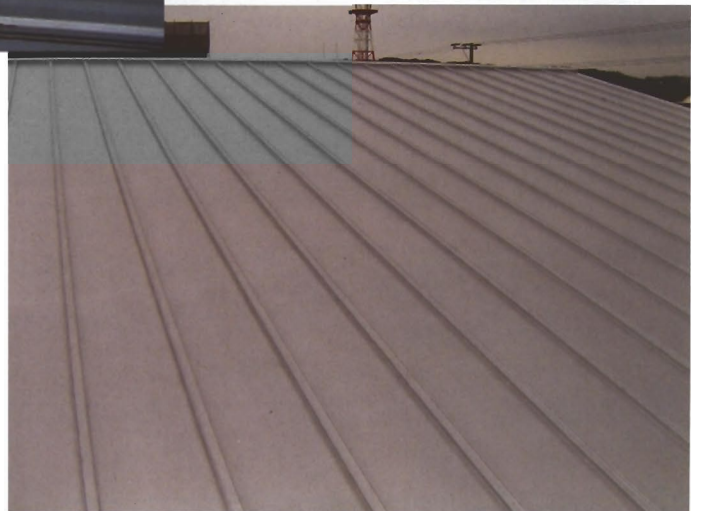
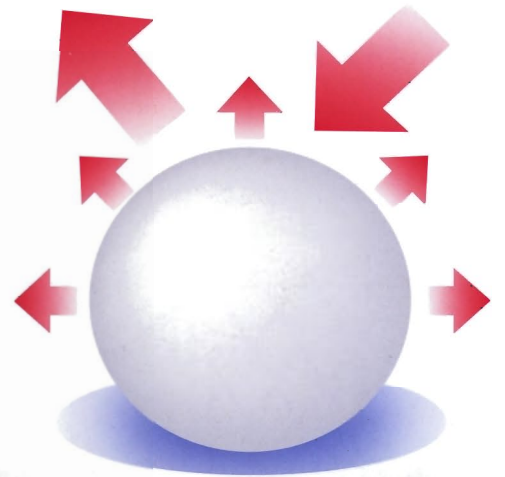


# ハイパー遮熱シリーズ

工場屋根のメンテナンスに最適

ハイパー遮熱Si (弱溶剤2液型シリコン変性樹脂塗料)

水系ハイパー遮熱Si (ナノシリコン樹脂エマルジョン塗料)



遮熱顔料反射

*By the pigment*

遮熱

*Infrared reflection*

*By the metallic*

メタリック反射

# ハイパー遮熱シリーズ

ハイパー遮熱Si

(弱溶剤2液型シリコン変性樹脂塗料)

水系ハイパー遮熱Si

(ナノシリコン樹脂エマルジョン塗料)

遮熱顔料反射

By the pigment

遮熱

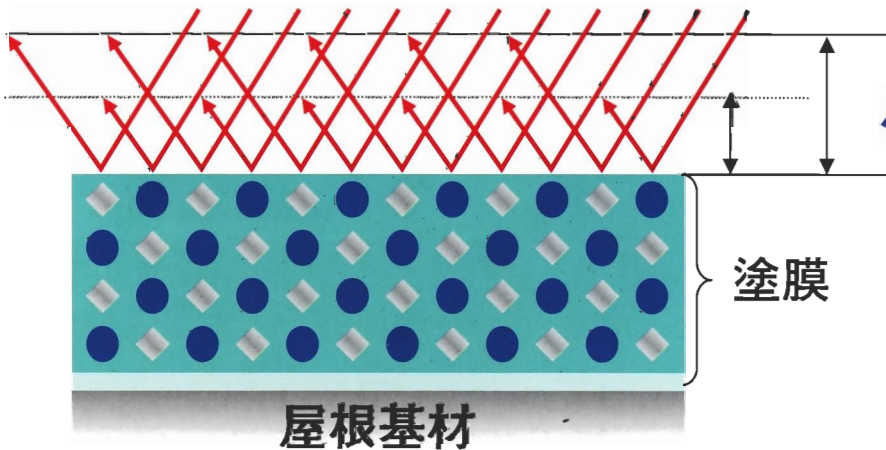
Infrared reflection

By the metallic

メタリック反射

遮熱顔料反射とメタリック反射の  
W効果で屋根の温度上昇を抑えます。

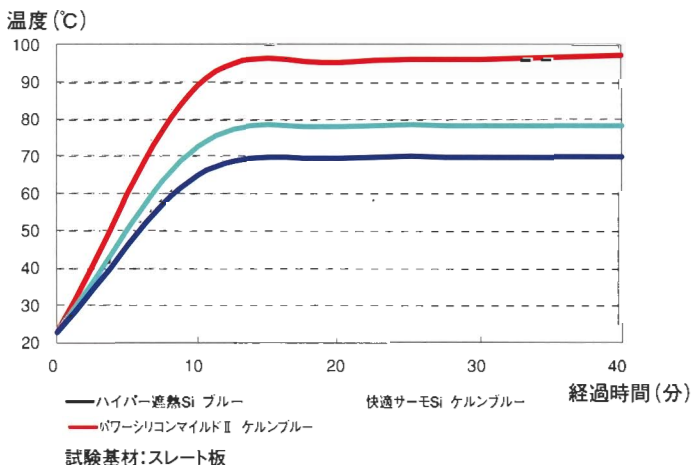
ハイパー遮熱は、メタリックが赤外線をより効率よく反射することに着眼して開発した、これまでにない遮熱型塗料です。ベースの樹脂はシリコン樹脂を採用し、耐候性、耐変色性に優れています。メタリック(銀系)色は、ローラー塗装した場合、色ムラが発生したりと塗装作業に熟練が必要でした。「ハイパー遮熱」は、ローラーで施工しても色ムラが発生せず施工が簡単です。



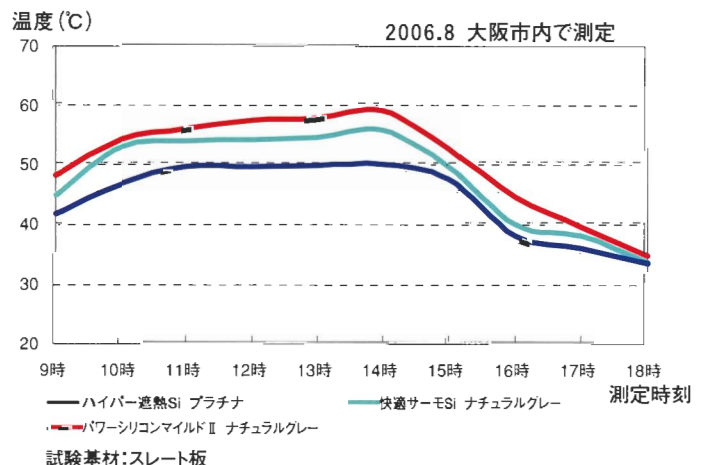
ハイパー遮熱の反射効率

- 遮熱顔料
- ◆ メタリック

## ●赤外線ランプ試験結果



## ●遮熱効果試験結果(実曝試験)



## 用途

工場屋根のメンテナンスに最適

### 窯業系素材

新生屋根材、セメント瓦、波形スレート

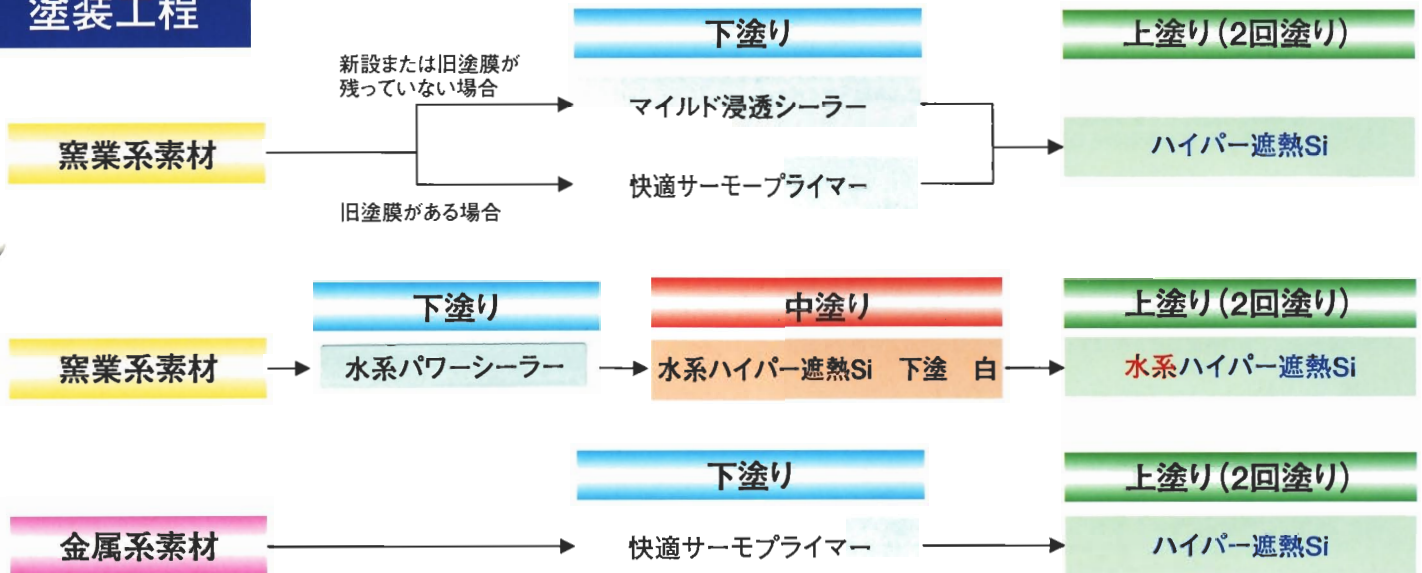
### 金属系素材

溶融亜鉛めっき鋼板、カラー鋼板、ステンレス鋼板、アルミ合金めっき板※

注) 金属系素材は、ハイパー遮熱Si(弱溶剤タイプ)のみとなります。

※アルミ合金めっき板(塗装されていないタイプ)は、赤外線反射率の高い屋根材のため、新しいものは効果がありません。

## 塗装工程



## (ご注意ください)



スプレー塗装

ローラー塗装

ハケ塗装

ハイパー遮熱Siは、施工方法によって色が変わります。

左写真はハイパー遮熱Siブルー

## ● 荷 姿

### ■ ハイパー遮熱シリーズ上塗り

ハイパー遮熱Si	16kgセット(主剤 14kg 硬化剤 2kg)
	標準色(提案色):プラチナ、ブルー、グリーン、レッド
水系ハイパー遮熱Si	15kg
	標準色(提案色):プラチナ、ブルー、グリーン、ブラウン

### ■ 中塗り・下塗り

マイルド浸透シーラー	15kgセット(主剤 14kg 硬化剤 1kg) …ハイパー遮熱Si用
快適サーモプライマー	15kgセット(主剤 14kg 硬化剤 1kg) …ハイパー遮熱Si用
水系ハイパーSi 下塗 白	15kg …水系ハイパー遮熱Si用
水系パワーシーラー	16kg …水系ハイパー遮熱Si用

### ■ 希釈剤

RMシンナー	16L・4L(S:夏用 A:春秋用 W:冬用 W速乾用)
	…ハイパー遮熱Si、マイルド浸透シーラー、快適サーモプライマー用

## 塗装仕様

### ○窯業系素材に対する塗装仕様

#### ■ハイパー遮熱Si (新設または、旧塗膜が残っていない場合)

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	塗装間隔 (23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	マイルド浸透シーラー 主剤 14kg 硬化剤 1kg	—	ハケ・ローラー エアレス	0.1~0.15	1 (※2)	100~150	—	2h以上	—
上塗り	ハイパー遮熱Si 主剤 14kg 硬化剤 2kg	1~4L	ハケ・ローラー	0.13~0.15	2	53~62	3h以上 7日以内	—	16h以上
		4~6L	エアレス						

※15年以上経過した基材等、基材表面が劣化し脆弱になっている場合は、マイルド浸透シーラーを2回塗りしてください。

※塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※上塗り塗装後、透けた部分や塗り残しがある場合は、上塗りでタッチアップするか再度全面塗装してください。

※特殊な金属を使用しているため、標準塗付量で塗装してください。塗付量以上で塗装すると色目に変化したり、色ムラ、色浮き現象の恐れがあります。

#### ■ハイパー遮熱Si (塗膜がある場合)

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	塗装間隔 (23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	快適サーモプライマー 主剤 14kg 硬化剤 1kg	1~2.5L	ハケ・ローラー	0.17~0.19	1	79~88	—	4h以上 10日以内	—
		2.5~5L	エアレス	0.19~0.21		71~79			
上塗り	ハイパー遮熱Si 主剤 14kg 硬化剤 2kg	1~4L	ハケ・ローラー	0.13~0.15	2	53~62	3h以上 7日以内	—	16h以上
		4~6L	エアレス						

※塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※上塗り塗装後、透けた部分や塗り残しがある場合は、上塗りでタッチアップするか再度全面塗装してください。

※特殊な金属を使用しているため、標準塗付量で塗装してください。塗付量以上で塗装すると色目に変化したり、色ムラ、色浮き現象の恐れがあります。

#### ■水系ハイパー遮熱Si

工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	塗装間隔 (23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	水系パワーシーラー 16kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.2~0.26	1	62~80	—	2h以上	—
中塗り	水系ハイパー遮熱Si 下塗 白 15kg	0.7~1.5kg	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	1	83~100	—	2h以上	—
上塗り	水系ハイパー遮熱Si 15kg	0.7~1.5kg	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	2	42~50	2h以上	—	12h以上

※塗付量に清水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※水系ハイパー遮熱Siは、ハケ・ローラー塗装が可能ですがムラにならないよう一定方向に仕上げてください。

### ○金属系素材に対する塗装仕様

#### ■ハイパー遮熱Si

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	塗装間隔 (23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	錆の発生が進行していたり、フレ、ハガレ等がある場合は、3種ケレンにより錆や死膜を除去する。 その後、清掃、水洗し、十分に乾燥させる。								
下塗り	快適サーモプライマー 主剤 14kg 硬化剤 1kg	1~2.5L	ハケ・ローラー	0.15~0.17	1	88~100	—	4h以上 10日以内	—
		2.5~5L	エアレス	0.17~0.19		79~88			
上塗り	ハイパー遮熱Si 主剤 14kg 硬化剤 2kg	1~4L	ハケ・ローラー	0.13~0.15	2	53~62	3h以上 7日以内	—	16h以上
		4~6L	エアレス						

※塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

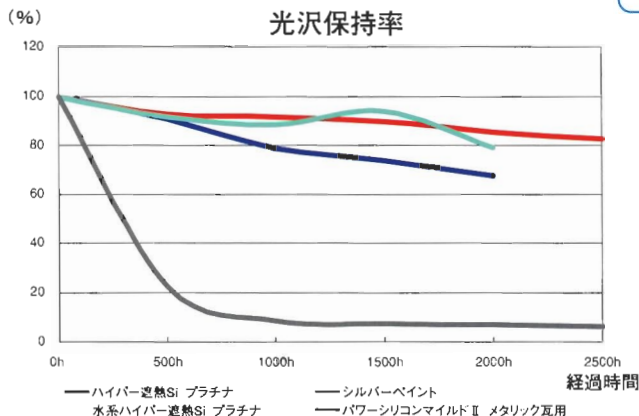
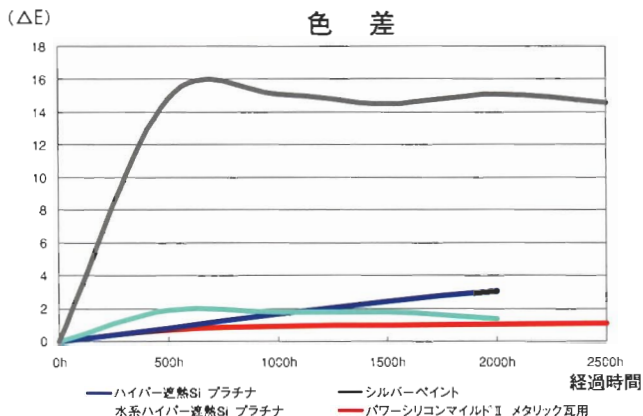
※上塗り塗装後、透けた部分や塗り残しがある場合は、上塗りでタッチアップするか再度全面塗装してください。

※特殊な金属を使用しているため、標準塗付量で塗装してください。塗付量以上で塗装すると色目に変化したり、色ムラ、色浮き現象の恐れがあります。

# リアルシリコンテクノロジーにより優れた耐候性を発揮



促進耐候性試験 (サンシャインウエザーメーター)

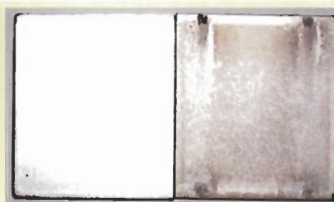


## 優れた耐候性が遮熱効果を長期間保持します。

屋根用のメタリックシルバーでは、シルバーペイント(アルミペイント)や瀝青質系の塗料が使われています。またこれらの塗料は、ハイパー遮熱と同様にメタリックによる遮熱効果があります。しかし耐候性が良くないことから、塗装後早い段階で塗膜が黒ずんできます。塗膜が黒ずんでくると遮熱効果が落ちてきます。ハイパー遮熱シリーズは、耐候性に優れたシリコン樹脂を採用していますのでメタリック反射による遮熱効果が長期間持続します。

ハイパー遮熱Si プラチナ

シルバーペイント



基準板

試験後(※1)

基準板

試験後(※1)

基準板

試験後(※1)

基準板

試験後(※1)

色差の状況(※2)

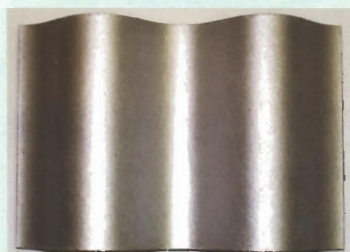
光沢の状況(※3)

色差の状況(※2)

光沢の状況(※3)

- ※1 試験後の試験板写真は、促進耐候性試験1,500時間経過後の試験板を撮影したものの。
- ※2 色差の状況は状態を判別しやすくする為、基準板と試験後板をフラッシュ無しで撮影した。
- ※3 光沢の状況は状態を判別しやすくする為、基準板と試験後板をフラッシュ有りで撮影した。

## ハイパー遮熱Si プラチナは 遮熱効果に加え放熱効果が期待できます

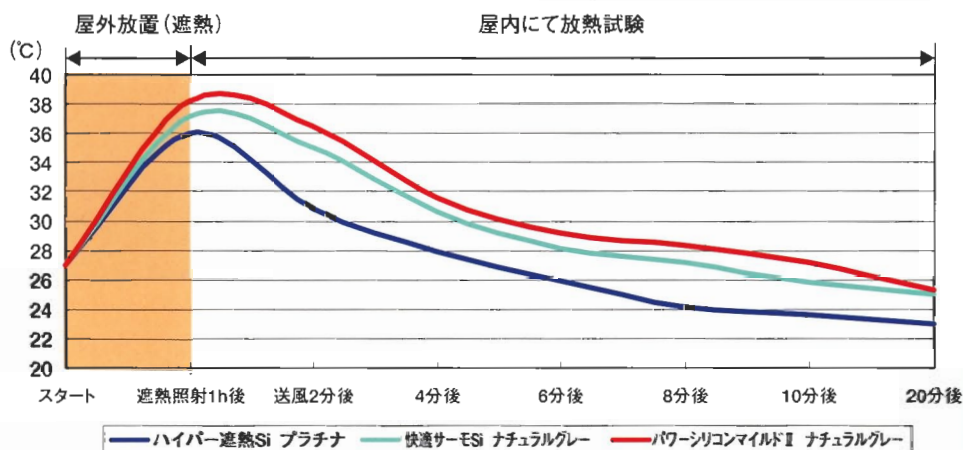


放熱効果が期待できる塗装工程

基 材：波形スレート

上塗り：ハイパー遮熱Si

色 名：プラチナ



試験方法: 試験ボックスを屋外に1時間放置し、その後試験ボックスを屋内に移動、真上から送風し冷却。その時の温度を測定(社内試験)。

## ●ハイパー遮熱Siの注意事項

- 2液硬化型のため主剤と硬化剤の混合は、必ず仕様書通りの調割合で混合し、充分撪拌してください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。
- 塗装面のゴミやほこり等は取り除いてください。
- 高反射用の金属を使用している為、直射日光が当たる部分の塗装は必ず目にサングラス等を使用してください。
- 降雨の予想される時や、高湿度(80%以上)、低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。
- 塗装中の保管は必ずフタをし、直接日光の当たらない場所に保管してください。再度塗装する場合は、特殊金属が浮きやすい為、充分撪拌してください。
- 2液型塗料の可使用時間は23℃で約5時間程度です。
- 塗装後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行ってから再度塗装してください。
- 希釈シンナーは、FMシンナーを使用してください。
- ハケ、ローラー等塗装器具の洗浄には、ラッカーシンナー又はエナメルシンナーを使用してください。
- エアレス塗装の場合、飛散による汚染の可能性がありますので充分養生してください。
- 詳しくは、MSDSを参照してください。

## ●水系ハイパー遮熱Siの注意事項

### (塗装・養生)

- エアレス吹き付けは中圧力(8~10Mpa)程度がよく、圧力調整のできる機種で中位に調整してください。
- エアレス吹き付けなどの場合、塗料の飛散に特に注意してください。  
※付近の建物や車など、付着してはいけないものはあらかじめ養生してください。  
※軒先塗装は圧力を低下させ、あて板などで養生してください。
- 塗料やミストがガラス、アルミサッシなどに付着したときは、すぐにウエス等に水をしみ込ませてふき取ってください。  
※乾いたときは、ラッカーシンナーで傷がつかないようにふき取ってください。  
※自動車等に付着したときは早急に水洗いしてください。
- ハケ・ローラーは、水系専用のものを使用してください。

### (施工)

- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 塗装後、翌日までに降雨、降雪、夜露の心配がある場合は、施工に配慮してください。  
(特に塗装後3~5時間ぐらいは、絶対に雨などにあわないようにしてください。)
- 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて充分な乾燥時間を確保してください。  
※特に5.6.7.は塗膜の変色及び剥離の原因になりますので充分注意してください。
- 塗装間隔は、被塗物の立地条件や気象条件等に大きく左右されますので、各工程の乾燥を充分確認の上、次工程に進んでください。
- 夏季など、互の表面温度が特に高い場合(手のひらをあてて熱さを感じる位)は、散水してから塗装してください。

### (緑切り)

- 水切り部で上下の瓦が塗料で接着している箇所は、スクレー等で緑切りを行ってください。  
(瓦と瓦の間に隙間がないと雨漏りや敷板が腐る恐れがあります。)

### (保管)

- 保管は凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
- 開缶後は直射日光を避け、皮張りした場合は、必ず取り除いてください。  
(一度乾燥した塗膜は水に溶けませんのでガン詰まりやブツの原因になります。注意してください。)  
※詳細は、MSDSを参照してください。



## 水谷ペイント株式会社

本社	〒532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3151 FAX(06)6393-1101
總発部	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
東京支店	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
北関東支店	〒348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎(048)563-0355 FAX(048)563-5124
中部支店	〒486-0815 愛知県豊田市十三塚町字十三塚3030-38	☎(0568)85-3551 FAX(0568)85-3556
大阪支店	〒532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
高松事務所	〒761-0101 高松市春日町1412-5	☎(087)841-4491 FAX(087)843-5304
広島支店	〒734-0022 広島市南区乗雲1-13-16	☎(082)284-6556 FAX(082)283-0017
福岡支店	〒811-2304 福岡県粕屋郡粕屋町仲原2628-1	☎(092)611-5731 FAX(092)621-2301
工場	本社・埼玉・中部・広島・福岡	
北海道支店	〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎(011)824-5711 FAX(011)824-6464

塗料に関するご質問、お問い合わせは

塗料相談室 ☎0120-126-210

営業時間 午前9:00~12:00 午後1:00~4:30

特約店